

● 内政

1 鉱山の違法鉱夫による暴動が発生

ザンビア北部コッパーベルト州チンゴラにて、小規模違法鉱夫、通称「ジェラボス」が、違法採掘中の野外鉱山から退去させられたことを受け、暴動を起こした。この暴動により、７９人が逮捕され、１人が死亡し、７人の警察官が負傷した。ヒチレマ大統領は同事態を受け、法執行機関に対し違法採掘対策を強化するよう指示した。（８月１日付 News Diggers）

2 政府、国民健康保険への拠出金を増額

保健大臣は、国民健康保険管理庁（NHIMA）のサービス向上のため、政府拠出及び個人負担拠出を増額する意向を表明した。０歳から１８歳及び６５歳以上は現行制度下、保険料無料で健康保険制度に入れる状態であり、被保険者負担・政府負担金が少ないことも含め機能不全が生じており、解消のために高齢者の保険料制度、負担金率の見直しを検討すると述べた。同制度については２０２１年度の時点で約１００万人が登録していたが、現時点で５３０万人以上が登録をしており、資金不足による運営不安が常々話題となっている。（８月５日付 News Diggers）

3 政府、トウモロコシを地域内他国へ輸出

ザンビア内閣は、今季豊作であったトウモロコシについて、国内の食糧需要、工業利用分、戦略的備蓄以外の余剰在庫約５０万トンを経内他国へ輸出することを発表した。同時に、国内のトウモロコシ生産量は推定３７０万トンであると発表している。（８月１３日付 News Diggers）

4 政府、不法操業の中国鉱山企業２社に対し操業停止を命令

鉱山・鉱物開発省は、中国鉱山企業２社が、適切なライセンスを保持していないにも関わらず、不

特定期間にわたり金を含む鉱石加工を実施していたことを確認したため、同事業者に対して操業停止を命令した。（８月２０日付 News Diggers）

● 外交・対外関係

1 大統領、ボツワナ・ボコ大統領と会談

８月１日、ヒチレマ大統領は当地を国賓として訪問中のボツワナ・ボコ大統領と会談した。会談の中では二国間委員会の発足が確認され、「ザンビア・ボツワナ二国間委員会会議運営規則」並びに「災害リスク管理に関する協力覚書」及び「保健分野における協力に関する覚書」の２つの覚書が署名された。（大統領 Facebook）

2 大統領、東アフリカ共同体（EAC）・南部アフリカ開発共同体（SADC）臨時オンライン首脳会議へ参加

８月１３日、ヒチレマ大統領は、東アフリカ共同体（EAC）と南部アフリカ開発共同体（SADC）の臨時オンライン首脳会議へ参加した。会議ではコンゴ民主共和国東部の治安情勢について議論され、仲介者の一人としてマシシ・ボツワナ前大統領が任命された。（大統領 Facebook）

3 外相、SADC 政治・防衛・安全保障オーガントロイカ閣僚会合及び首脳会合へ出席

８月１６日、ハインベ外相はマダガスカルで開催された SADC 政治・防衛・安全保障オーガントロイカ閣僚会議及び首脳会合に出席した。会合の中では域内での治安情勢などについて議論された。（８月１６日付 外務・国際協力省 Facebook）

4 外相、SADC 首脳会合へ出席

８月１７日、ハインベ外相はヒチレマ大統領の代理として、マダガスカルで開催された南部アフリカ共同体（SADC）首脳会合へ出席した。会議

の中では SADC 地域指標戦略開発計画（RISDP）
2020-2030 の進捗状況や平和・安全保障問題など
が議論された。（8月17日付 外務・国際協力省
Facebook）

5 在ザンビア・イスラエル大使館、再開

8月20日、イスラエルは1973年に閉鎖した
在ザンビア大使館を52年ぶりに再開設した。
1973年の国交断絶時に閉館し、1991年の
国交再開以降も開設はされていなかったが、20
15年にルング前大統領が在イスラエル・ザンビ
ア大使館を開設し、2023年にヒチレマ大統領
がイスラエルを訪問したことを受け、今次再開に
至った。（8月20日付 外務・国際協力省
Facebook）

6 大統領、イスラエル外相と会談

8月21日、ヒチレマ大統領は当地を訪問中の
イスラエル外務大臣と会談した。会談の中では保
健、教育、農業、エネルギー、インフラ開発、貿
易・投資に関する協力深化が議論されるととも
に、中東における恒久的な平和と安定は対話と外
交的関与によってのみ達成可能であるとのザンビ
アの立場が改めて表明された。（8月21日付 ヒ
チレマ大統領 Facebook）

（了）